

中小児童教育アンケート R4. 10 実施



3年生以上で、前期の学校生活を振り返るアンケート調査を実施しました。

◇災害や事故対応についてのA評価は約95%でした。「命を守る訓練」や「コロナ感染症対予防」、「交通安全」等、時と場に応じて、どのように対応するとよいのかの指導を今後も重ねていき、状況を判断し、適切に行動できる児童の育成に努めていきます。

◇「なかよし班や通学班では、協力しなかよくした」「なかよし遊びなどの児童会活動は楽しい」では、A・B評価がどちらも9割以上でした。今後も、学年が異なる児童と共に楽しく触れ合ったり協力して活動に取り組んだりする機会を設けていきます。また、なかよし遊びを通して、高学年としての自覚をもてるよう、そして、下学年はあこがれや尊敬の気持ちをもてるようにすることで、学校生活の充実とよりよい人間関係の形成を図っていきます。

◇「先生は、がんばったときにきちんとほめてくれる」「先生は、私たちがよくないことをしたら真剣にしかってくれる」等においてもA評価が約9割でした。今後も、認め・励ますことを大切にしながら、児童に寄り添った指導に努めていきます。

◆学習面においては、「授業中は、進んで課題に取り組み、自分の考えを発表した」において弱さが見られました。仲間と交流することで自分の考えを深めていくために、まずは、学習課題に対する自分の考えをもてるよう、算数科の授業を中心に全職員で方策を考えて取り組んでいきます。また、NEW!GIFUウェブラーニングや朝の学習の時間等を活用しながら、学びをより確かなものにするよう指導を重ねていきます。